

認定医申請のご案内

I. 認定医申請資格 『認定医・専門医制度規則 第9条、要約』

1. 継続4年以上本学会会員であること。
2. 学会認定医協議会の定める基本的診療科の認定医または専門医であること。
3. 初期臨床研修医終了後、認定施設・関連施設または研修認定施設(1999.1~2006.12)において通算2年以上の修練期間を通して、40例以上の乳癌症例の診療経験
ただし、平成15年迄の医師免許取得者は医師免許取得後4年以上修練し、
そのうち2年以上は認定施設・関連施設において所定の修練カリキュラムに従い修練を行う。

(但し、認定施設・関連施設での修練は常勤またはそれに準ずる勤務※であることが必要である)

※常勤に準ずる勤務である場合は勤務証明書(書式なし)を提出すれば申請を認める。

注) 研修修了証明書・業績は、乳癌学会に入会してからではなく、あくまでも、
臨床研修医終了後のものになります。

4. 筆頭論文または筆頭発表の業績。下記説明 III.8 参照

II. 申請書類

1. 認定医認定申請書 表紙 捺印
2. 認定医認定申請書 評議員推薦書付き
3. 履歴書
4. 診療経験 (不足の場合コピーして使用)
5. 研修カリキュラム (基本的事項・専門的事項)
6. 認定施設・関連施設での研修修了証明書 (不足の場合コピーして使用)
7. 認定医業績目録

III. 申請手続き方法 地方創生委員会に提出

申請書類は正本・副本が必要です。

(正本は指定用紙、副本は正本をコピーしたもの1通)

【申請書の作成について】

1. 認定医認定申請書表紙(正本)
2. 認定医認定申請書 評議員推薦書付き(申請者が評議員のとき自薦、他薦自由)
……(正本・副本：正本のコピー1部)
3. 履歴書……(正本・副本：正本のコピー1部)
4. 日本国の医師免許証(写)……(正・副本の両方ともコピー)
5. 学会認定医制度協議会の定める基本的領域診療科の認定証(写)
6. 診療経験

本学会認定施設・関連施設での修練期間を通じて、40例以上の乳癌症例の診療経験

- 1) 診療実績証明書による、40例以上の乳癌症例数を記載。(研修施設ごとに作成)
認定施設・関連施設は本学会のホームページ参照または事務局へ問合せ
て認定番号を記入する。
- 2) カリキュラムの基本的事項・専門的事項の該当する項目を記入。(通算での経験)

7. 認定施設・関連施設での研修修了証明書（常勤またはそれに準ずる勤務に限る）

- 1) 認定施設は、「認定施設・関連施設一覧」を参照。
- 2) 証明は、当該施設の責任者または当該科の代表者。[捺印あり]
- 3) 施設が複数にわたる場合、用紙はコピーして利用してください。

8. 業績目録……（正本、副本:正本のコピー1部）

(1)、(2)、(3) のいずれか一つを申請資格として記す。(混合は審査対象外)

◆乳腺疾患に関する業績

◆業績目録に書いた証拠書類として下記のコピー1部が資格審査に必要です。

(1) 筆頭論文1編以上

別刷あるいは題名・所属・発表者名の記載されている第1ページのコピー1部添付

(2) 筆頭発表：全国学会2件以上（地方会不可）

(3) 筆頭発表：全国学会1件+本学会地方会2件以上

上記(2)、(3)：学会発表名の記載された抄録の表紙と抄録部分
(記載ページ明記の抄録分箇所) コピー1部添付

9. 申請手数料1万円を下記振込先に振込み、振り込んだ控えのコピー1部を同封する。

(同封させていない場合は、審査時点の確認上、審査の対象から除外となる場合があります。)

※資格認定施行細則 第25条「既納の申請料はいかなる理由があっても返却しない」

★振込先★

【ゆうちょ銀行へのお振込み】

口座番号：00170-5-404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

【銀行からゆうちょへのお振込み】

ゆうちょ銀行

〇一九支店

当座0404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

10. 受領はがき

差出人の住所・氏名を記入の上、62円切手を貼って提出する。

IV. 締切日 毎年1月末日

★認定施設について注意

本学会の専門医制度の認定施設ができたのは、1999年が最初の年です。
上記6,7の期間については、1999年以前のものは、該当しません。
施設によっては、各々認定時期、期間の違いがあります。

申請書類送付先： 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-8-16
ぶよおビル3階
日本乳癌学会 地方創生委員会 宛
TEL 03-5542-1555 FAX 03-5542-1554